

伸びゆく子

栗東市立大宝東小学校だより 最終号

令和8(2026)年3月24日

児童数 350名

心あたたか活気みなぎり、仲間と共に伸びゆく子

㊦ れにでも優しい子 ㊩ きいき学ぶ子 ㊨ とつながる子 ㊧ んばりぬく子

言葉では伝えきれない感謝の気持ちでいっぱいです

3月2日(月)～13日(金)まで6年生の祝福週間として、「全校みんなで創りあげる」意識をもちながら、「メダルや王冠づくり」「掲示物づくり」「ありがとう放送」などに取り組みました。3月6日(金)には「6年生今までありがとう会」を実施し、各学年から心のこもった出し物が発表され、思い出に残る時間を過ごすことができました。



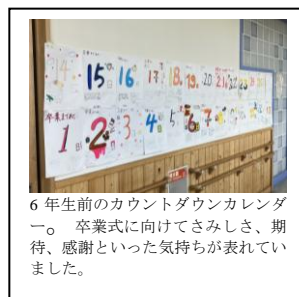
そして、3月19日(木)は、早朝からぐずついた天候でしたが、登校時には雨もあがった中で卒業証書授与式を迎えました。卒業生保護者の皆様と在校生、教職員みんなで、すばらしい雰囲気のもと、実施することができました。前日練習から呼びかけと歌を、心をこめて伝えることができていました。子どもたちが持っているパワーは測り知れないものがあります。

卒業式当日も卒業生と在校生と一緒に大きな声で校歌やお別れの曲を歌い、互いに呼びかけを行いました。学校長式辞では、大きく4つのことを話しました。

1. 特にこの1年間のがんばりが下級生のお手本となる立派なものであったこと。
下級生の安全を守ったりたくさんの工夫を凝らしたりできたことを伝えました。
2. 伝えたい言葉1:「おもしろき こともなき世を おもしろく すみなすものは 心なりけり」
どんな状況でもプラス思考で中学校生活を送ってほしいと伝えました。

3. 伝えたい言葉2:「ケセラセラ」
時には「なんとかなるさ」と考えて折れず、あきらめず、しなやかに生きてほしいと伝えました。

4. 「ありがとう」について
様々な「ありがとう」がある中で、「生まれてきてくれてありがとう」「出会ってくれてありがとう」「あなたがあなたでいてくれてありがとう」も大切にと伝えました。在校生にとって、かっこいいあこがれる存在である卒業生。彼ら一人ひとりのこれからの人生にたくさんの幸せがあることを願います。



そして本日、24日(火)には、修了式を行いました。各学年の代表者が、今年一年がんばったことを発表し、互いの成長を確認し合い、進級に向けて「やるぞ!」という気持ちをもつ式となりました。



校長からは、「大事な目標が詰まっている「㊦・㊩・㊨・㊧」を忘れずにということを伝えました。そして、事故や病気に気をつけて安全に過ごすこと、家庭学習にしっかり取り組むことについて話しました。お家の方の見守りをお願いします。2週間後にはまた新しい学年の学びが始まります。4月にパワー全開で大宝東小学校に戻ってきてくれることを期待しています。

この一年間、本当に多くの方のご支援・ご協力をいただきました。どんな天候の時も子どもたちの安全を温かく見守ってくださったスクールガードの皆様と、地区委員の皆様。PTA 図書ボランティアで読書活動を推進してくださった皆様、水曜日に読み語りをしてくださったマザーグースの皆様。玄関にすてきな作品を寄贈いただいているパッチワークの会の皆様。大宝東小学校の子どもが安心して楽しく生活できたのも皆様のおかげです。

また、「田んぼのこ」「みそづくり」などの体験学習や地域学習でご指導いただいた地域の皆様、進路学習や人権学習で貴重な体験をお話くださった講師の皆様、本校教育に貴重なご意見をくださった学校協議会や校区自治会の皆様。登下校や行事等で子どもたちにお声をかけてくださった保育園・幼稚園の先生方、学童保育所の先生方、今年度、本校児童や教職員に関わってくださったすべての皆様にお礼申し上げます。本当にお世話になり、ありがとうございました。今後さらに素晴らしい出会いがあることを願います。また、本校の教育活動に多大なご支援とご協力をいただきました保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、これからもお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

校長 安本 昌彦